

銀の風

- 新年のご挨拶
- カザフスタンより留学生がやってきました
- 部署紹介・栄養管理科
- 病院まつりを開催しました！
- 地域包括ケア病棟のご案内
- 外来診療一覧

Vol. 5
2015 新春号

大田市立病院 〒694-0063 大田市大田町吉永 1428 番地 3

大田市立病院の様々な情報をホームページに掲載しています。

大田市立病院

検索

<http://www.ohda-hp.ohda.shimane.jp>

新年のご挨拶

大田市病院事業管理者（大田市立病院 院長） 西尾 祐二

新年あけましておめでとうございます。

みなさまには健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

大田市立病院は、昨年 15 周年の節目を終え、記念の式典を開催すると共に病院ロゴマークの制定を行いました。病院のこれまでの歩みを振り返り、関わった全ての人に感謝するとともに、ロゴマークのごとく躍動的に新しい未来への一步を踏み出す年となりました。その象徴として、病院は地方公営企業法の全部適用となり、病院事業への責任ある対応がいっそう求められることとなりました。診療面においては、新たに 5 名の医師の着任と 2 名の研修医が確保でき、機能向上が図れたと考えております。筑波大学からの出張指導に加え、青梅市立総合病院の研修医実習や海外からの留学生の受け入れなど、研修環境においても飛躍と充実の年になりました。また、地域活動においても、これまでの出前講座のほかに、第 1 回目の病院まつりを 11 月に開催し、より地域との交流が深まったと考えております。

今年におきましては、これまでの活動をベースとし更なる発展を目指すとともに、新規事業にも積極的に取り組んで参ります。その中で、まず取り組むべきは、一昨年から取り組んできている新病院の建設着工で



あります。建設需要の高まりを受け、困難な作業と覚悟しておりますが、大田市立病院と大田市の未来に向け、当地に相応しい新病院になるよう最大限の努力をしていきます。

次に、診療面において、予てからの念願であった回復期リハビリ病棟を本格的に稼働させる予定としております。島根県の 7 医療圏域の中で回復期リハビリ病棟を持たなかった大田圏域に待望の施設となります。当地域のリハビリニーズの高さを鑑みるとしっかりと責任感を持って取り組んでいきたいと考えています。

「羊」のイメージとは程遠く、今年も諸事多難の年となると思われませんが、信念と情熱をもって前進する所存です。何卒、みなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、今年のみなさまのご多幸とご健勝をお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

和

誠意

奉仕

- 1) 大田二次医療圏の中核病院として、5 疾病 5 事業を中心とした急性期医療を提供します。
- 2) 病病・病診連携により、圏域に必要な医療提供に努めます。
- 3) 地域で必要度の高い疾病に対し、保健・福祉と連携した予防から介護までの一体的医療サービスを提供します。
- 4) 訪問看護等を通して在宅医療や地域医療の向上に寄与します。
- 5) 医療水準の向上と安全な医療環境整備に努めます。
- 6) 職員相互の協調によるチーム医療の実践と、よき医療人としての人材育成に努めます。

カザフスタンより留学生がやってきました

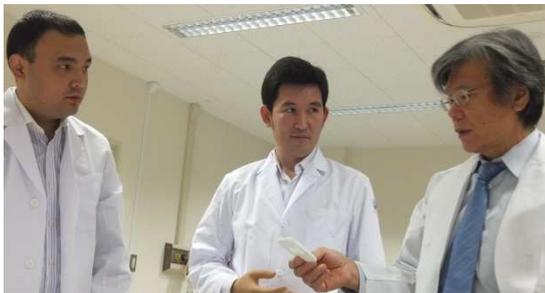
10月25日カザフスタン共和国のセメイ国立医科大学から大田市立病院に2人の短期留学生がやって来ました。アプサリコフ・バキトベック(29)さん、ライムハノフ・アイダール(30)さん、いずれも専門は外科で、野宗医師(大田総合医育成センター長)の下で、日本の進んだ外科治療や手術の手技を学びます。

今回の留学は、平成25年1月に島根大学とセメイ国立医科大学が締結した交流協定によるもので、島根大学医学部のサテライトキャンパスである大田市立病院・大田総合医育成センターが研修の場となりました。



セメイ(カザフスタン共和国)の位置

2人とも顔立ちは日本人によく似ていますが、話す言葉はロシア語です。日本での生活について尋ねたところ、「ゴミの分別に戸惑ったがそれ以外に困ったことはない、インターネットやスカイプのおかげでホームシックも平気」とのこと。好きな日本料理は「お寿司(わさびもOK)と天ぷら」、大田の印象は「美しい自然に囲まれた素敵なまち、人もやさしくて親戚や友だちのように感じる」と大絶賛。



野宗先生(右)より指導を受けるバキトベックさん(左)とアイダールさん(中)

休日は自転車でイオンへ買物に…もうすっかり大田の住人です。1月下旬まで滞在予定ですので、みなさんも出会ったら日本語で話しかけてくださいね。

(大田総合医育成センター支援室：和田 二郎)

管理栄養士の役割

部署紹介 栄養管理科



病院に勤務する栄養士・管理栄養士を取り巻く医療施設の栄養管理・給食管理環境は、この10年間で大きく変わってきました。

平成24年4月には入院基本料に栄養管理の概念が導入され、すべての患者さんに栄養管理を行うための環境が求められています。栄養サポートチーム(=NST)、褥瘡対策チーム、緩和ケアチーム(=PCT)などの様々なチーム医療に携わり、個に応じた栄養管理・給食管理に現在管理栄養士2名で対応しています。日進月歩する医療、疾病構造の変化、洋風化・簡便化傾向してきた食生活等々の中で、私達病院管理栄養士は、医療の担い手として最新の知識や技術を習得し、チーム医療の中で専門性が発揮できるように頑張っています。

給食管理は、委託業者(現：日清医療食品株式会社)に全面委託しています。常に食事サービスの向上に努めていますので、みなさんの声をお聞かせください。

《栄養相談室の紹介》

当院には大小ひとつずつ栄養相談室があります。平日(月～金曜日)5日間の午前・午後と栄養指導を実施しています。原則予約制ですが、必要に応じて随時対応しています。写真は指導に用いる媒体の一部です。様々な媒体を展示しておりますので、お気軽に足をお運びください。食事は生活と切り離せない存在です。そんな食事のサポートにぜひ管理栄養士をご活用ください。



(栄養管理科：濱本 能利子)

第1回 病院まつりを開催しました！

感謝を含め「病院まつり」を開催

地域の皆さんに市立病院をもっと知っていただきたい、そして、触れ合いたいとの想いで、この度、新たな取り組みとして「**広げよう地域の輪 ～15年分のありがとう～**」をテーマに、11月16日（日）に病院まつりを開催しました。

開催にあたり、8月に各部署から若手職員を中心に7名が集い、実行委員会を立ち上げました。初めての試みであり、試行錯誤の連続でしたが、病院を想う強い気持ちと、来場いただく皆さんとの出会いを楽しみに、開催に向け準備を進めてきました。

多彩な企画盛りだくさん

当日は、私たちの予想を大きく上回る800人もの皆さんにお出かけいただきました。企画として、メタボ診断や血管年齢チェック、骨密度測定、救急体験としてAED講習、介護予防の運動指導、院内体験隊を行いました。特に、血管年齢チェックや骨密度測定には、長蛇の列ができるほどの盛況でした。また、日頃は滅多に入ることのできない手術室や検査室、画像診断室などを巡る院内体験隊では、手術室での腹腔鏡シミュレータを使った手術体験に皆さん興味津々でした。また、たんぽぽ保育園やあゆみ保育園の愛くるしい子供たちの歌や踊りはまつりに花を添えてくれました。



【院長による開催挨拶】



【DMAT 隊員による AED 講習】



【院内体験隊 - CT 検査室 -】



【骨密度測定】

屋外では島根県防災航空隊と大田消防署の協力による防災ヘリや、消防車「らとちゃん号」の展示・試乗体験もありました。



【防災ヘリコプターの展示・試乗】



【消防車「らとちゃん号」の展示・試乗】



【保育園児による踊り】

「関心、交流、一体感」が生まれる

病院まつり実行委員会の小林央委員長（リハビリテーション技術科）は、「病院まつりが、医療や健康について関心を持っていただくきっかけになったと思う。」と話し、さらに、「病院スタッフと市民の皆様との交流の場になったことは大きな成果。また、病院まつりを通じ病院スタッフの一体感はこのからの病院運営に大きな力となると感じた。」と手ごたえを熱く語りました。

（総務課：島林 大吾）



【地域包括ケア病棟】のご案内

地域の医療ニーズに添っていくため、平成26年10月から2階病棟を在宅復帰支援のための「地域包括ケア病棟」として運用を開始いたしました！



「地域包括ケア病棟」とは・・・手術などの急性期治療が終了した患者さんが、住み慣れた自宅や施設等で生活するため、在宅への退院支援や調整を行う病棟です。

- 「対象」は……
1. 急性期の治療によって症状は改善したが、もう少し経過観察が必要になる方
 2. 介護サービスの準備など、在宅での療養準備が必要な方
 3. 在宅復帰へ向けて、もう少し日常生活リハビリが必要な方

※ご自宅や施設などでの療養に不安があったり、あと少し急性期治療後の入院治療を継続することで改善が見込まれる患者さんに対して「在宅復帰支援計画」に基づき、主治医・看護師・リハビリスタッフ・医療相談員などが復帰支援を行い、患者さん・ご家族などと協力して在宅復帰を目指します。

外来診療一覧

平成26年12月1日現在

(●初めての受診が可能 ○予約の方のみ)

診療科	月	火	水	木	金
内科	●	●	●	●	●
神経内科	●				
呼吸器内科					
消化器科	●	●		●	
循環器科		●		○	○
メンタルヘルス科				○	
小児科	●	●	●	●	●
外科	●		●	●	●
呼吸器外科					●
心臓血管外科			●		
整形外科	● ※1		● ※1		● ※1
脳神経外科			●	●	●
皮膚科	● ※2	●	●		●
泌尿器科	●	●	●	●	●
産婦人科	●	●	●	●	●
放射線科		●		●	
ペインクリニック	●		●	●	●
眼科	● ※3				● ※3
耳鼻咽喉科	● ※4	●	● ※5		
総合診療科		●			
リウマチ外来		○			
腎臓内科	● ※6				
ペースメーカー外来					○
小児神経外科				○	
小児心臓外来		○			
乳児健診		○			
予防接種					○
腫瘍外来			○		
緩和ケア				○	
女性泌尿器科外来				● ※7	

【受付時間】 8:30~11:00 (予約の方はこれ以外の時間になることがあります)

- ※1 予約券をお持ちの方は8:30~15:30 (初診の方の受付を制限する場合があります)
 - ※2 13:15~15:00 (診療は第1・3週となります)
 - ※3 初めて受診される方は8:30~10:30
 - ※4 診療は第3週のみとなります
 - ※5 初めて受診される方は13:45~15:30、予約券をお持ちの方は13:45~16:00
 - ※6 13:00~16:00
 - ※7 診察は、第1・3・5週となります
- 最新の外来診療については、ホームページまたは右記までお問い合わせください。

編集後記

「思ったことは、すぐに口にしない」と、細い付箋にボールペンで書いて、机に貼っています。なかなか守れないこの教訓。職場のみなさんからも、大きく書いて壁に貼ったらどうか、と揶揄されています。

しかしながら、すぐに忘れて口に出してしまうことが多く、「守れていない」と職場では笑い話になることも、しばしばです。この笑い話になることが、なんだか一番のストレス発散になっているような気がします。

今年も、これを抱負にして最後は笑って過ごすことが出来るよう、素敵な年を目指します！

(編集委員 M)

発行

大田市立病院 広報委員会

〒694-0063

島根県大田市大田町吉永 1428-3

TEL 0854-82-0330

FAX 0854-84-7749